性感染症って

Sexually Transmitted Infections

どんな病気？

あなたのために

大切な人のために

知っておきたいこと

東京都

目　次
Contents

Part 1 性感染症ってどんな病気？

感染症って何？…… 1
性感染症って何？…… 2
性感染症はどのように感染するの？…… 2
性感染症はどうして広がるの？…… 3
性感染症は赤ちゃんにも感染します…… 3
知らずに放っておくと…… 4
不安をかかえているのなら…… 4
あなたが性感染症に感染したら？…… 5
どうすれば予防できるの？…… 6
コンドームの正しい使い方…… 6
性感染症のこと、聞きたい、知りたい…… 7

特集　梅毒が増え続けています！…… 9

Part 2 それぞれの病気について

1．梅毒 …… 13
2．性器クラミジア感染症 …… 14
3．淋菌（りん）感染症 …… 15
4．性器ヘルペスウイルス感染症 …… 16
5．尖圭（せんけい）コンジローマ …… 17
6．トリコモナス症 …… 18
7．性器カンジダ症 …… 19
8．Ｂ型肝炎 …… 20
9．Ａ型肝炎 …… 21
10. アメーバ赤痢 …… 22
11. HIV感染症・エイズ（後天性免疫不全症候群）…… 23
12. その他の性感染症・ウイルス …… 24

Part 3 保健所の性感染症検査について

検査の流れ（都の保健所の場合）…… 25
検査を受けるにあたって…… 25
多摩・島しょ地域の保健所におけるHIV・性感染症検査実施一覧 …… 26

Part 4 東京都保健医療局からのお知らせ

東京都新宿東口検査・相談室 …… 27
東京都多摩地域検査・相談室 …… 27
東京都HIV／エイズ電話相談 …… 28
東京都医療機関案内サービス“ひまわり” …… 28
医療情報ネット「ナビイ」（厚生労働省） …… 28
東京都性感染症ナビ …… 28
東京都HIV検査情報web …… 28
多摩・島しょ地域／特別区保健所電話番号一覧 …… 裏表紙

Part 1 性感染症ってどんな病気？

感染症って何？

感染症とは

感染症とは、細菌、ウイルス、真菌、寄生虫などの病原体が、空気、食べ物、水、動物、昆虫、人などを経由して体に入り、さまざまな症状を引き起こす病気です。

感染のしかた

感染のしかたは、大きく、接触感染、飛沫感染、空気感染の３つに分けられます。

- 接触感染とは、病原体が付着しているものに触れ、口や粘膜、傷口から感染することです。ノロウイルスや梅毒は接触感染します。
- 飛沫感染とは、病原体が含まれる咳やくしゃみのしぶきを吸い込むことで感染することです。インフルエンザや風しんは飛沫感染します。
- 空気感染とは、せきやくしゃみに含まれていた空気中にただよっている病原体を吸い込むことで感染することです。結核や麻しんは空気感染します。

性感染症の多くは、性行為による接触感染です。

性感染症の多くは性行為による接触で感染します（接触感染）

性感染症って何？

「性行為で感染する病気」を総称して、性感染症（STI）といいます。ウイルス、細菌、原虫などが、性器、泌尿器、肛門、口腔などに接触することで感染します。しかし、症状が軽かったり、なかったりすることもあり、気づかない間に進行していることがあります。

※STI（STD）とは、Sexually Transmitted Infections（Diseases）の略です。STIに関する情報については、性感染症に関する総合WEBサイト「東京都性感染症ナビ」（28ページ）をご活用ください。

性感染症はどのように感染するの？

性行為により、病原体を含む分泌液（精液、膣分泌液など）、血液などに直接触れることで、粘膜や傷口から感染します。

性行為って何？

現在、性行為は多様化しており、ひとくちに「性行為」といっても色々です。このパンフレットでは、次のようなものをさします。

性行為

- 膣性交
- 口腔性交（オーラルセックス）
  フェラチオ・クンニリングス
- 肛門性交（アナルセックス）

など

性感染症はどうして広がるの？

1　たった一度の性行為でも性感染症に感染する可能性があります

「たった一度の性行為でも」…性感染症に感染することがあります。
性感染症は、性行為の経験がある人なら誰でも感染する可能性のある病気です。

2　性感染症には無症状のものがあります

性感染症に感染しても、無症状の場合があります。

そのため、感染した人が気付かないままパートナーに感染させてしまうことがあります。

性感染症は赤ちゃんにも感染します

梅毒やクラミジア、ＨＩＶなどの性感染症は、母親からお腹の赤ちゃんに感染（母子感染）する可能性があります。母子感染が起きると、赤ちゃんが先天性の障害をもつ原因となったり、流産や死産を引き起こすこともあります。

妊娠を希望している（または可能性のある）女性は、妊娠前に性感染症の検査を受けましょう。妊娠前に男女ともに感染していない、または完治したことを確認しておくこと、妊娠中に感染しないことで母子感染を防ぐことができます。

知らずに放っておくと…

**性感染症に感染しても自覚症状がないことがあります。
しかし、からだの中で病気は進行します。**

**性感染症は
症状が重くなる
ことがあります**

性感染症を治療しないでいると、骨盤内炎や肝周囲炎など重症化することがあります。特に梅毒は、心臓、血管、神経の異常が現れることがあります。

**性感染症は
不妊症の原因に
なります**

性感染症を治療しないでいると、精巣の炎症や卵管の炎症などが起きることがあり、不妊の原因となります。

性感染症は早期発見・早期治療が大切！

検査等により早期に発見して早期に治療を始めることで重症化を防ぎ、梅毒等の性感染症は治すことができます。
HIVは治すことはできませんが、早期に治療を開始することでエイズ発症を防ぐことができます。

不安をかかえているのなら…まずは相談

**早期発見が
大切です。**

「もしかしたら・・・」と思う症状などがある時は、医療機関を受診しましょう。治療が遅れると治るまでに時間がかかることもあります。
また、保健所では感染しているのではないかといった不安や、正しい予防方法が知りたいなど、様々な相談に応じています。電話での相談もできます（裏表紙の電話番号を御覧ください）。

性感染症は、検査でわかります。

☞25・27ページ

病気の種類によって、検査の時期や方法が異なります。
自己判断や思い込みで悩まずに、医療機関を受診しましょう。
また、いくつかの性感染症については、保健所又は都が設置する検査・相談室で匿名・無料の検査が受けられます。

定期的に性感染症の検査を受けましょう。

自覚症状がないこともあるので、定期的な検査は早期発見・早期治療に有効です。パートナーも定期的に検査を受けましょう。

あなたが性感染症に感染したら？

性感染症は、治療できます。

ほとんどの性感染症は、早めにきちんと治療すれば治ります。
医師の指示に従って、確実に治療しましょう。

性感染症を担当する科は病院によって名称が異なります。受診は性病科や感染症科のほか、皮膚科、男性であれば泌尿器科、女性であれば産婦人科などでも診療しています。必ず受診前に医療機関に確認しましょう。感染症の治療で大切なことは、医師から「治った」と言われるまで、きちんと治療を続けることです。

パートナーも検査をすることが大切です。

性感染症は、一度治療しても免疫ができず、何度も再感染を起こしてしまうものもあります。パートナーも検査をして、お互いに感染し合うことのないように、しっかり治療することが大切です。

どうすれば予防できるの？

NO SEX　SAFE SEX　SAFER SEXとは

NO SEX（セックスしない）

不特定多数や見知らぬ相手とは性行為をしないといったような、ノーセックスも予防のための選択肢のひとつです。

SAFE SEX（安全なセックス）

今は特定の相手しかいなくても、過去に他の人と性的接触があれば、過去のパートナーからの感染の可能性があります。

ふたりとも感染がないことを確かめておくことが大事です。

SAFER SEX（より安全なセックス）

コンドームを正しく使うことが、性感染症の予防に有効です。

コンドームを正しく使うことが予防には有効です。
パートナーと、コンドームの使用も含め、安全な性行為についてよく話し合いましょう。
口腔（くう）性交（オーラルセックス）、肛門（こう）性交（アナルセックス）でも性感染症に感染します。
感染を防ぐためにも、コンドームの正しい使用が大切です。

コンドームの正しい使い方

①コンドームには使用期限があり、熱や摩擦の多い所は保存に適さない。

②爪でゴムを傷つけることがあるので、きちんと爪を切っておく。

③コンドームを傷つけないように取り出す。

④精液溜（だ）まりを軽くつまみ空気を抜く。

⑤勃起（ぼっき）したらすぐに、ペニスにかぶせる。

⑥ペニスの根元にたるんだ皮膚が残らないようにしっかりかぶせる。

⑦射精後はペニスが小さくなる前に抜く。

⑧ティッシュなどに包んできちんと捨てる。

性感染症のこと、聞きたい、知りたい

Question	Answer
1 性感染症は、膣性交以外で感染しますか？	病気によっては、膣性交以外の性行為でも感染することがあります。 性感染症は、フェラチオやクンニリングスといった口腔性交（オーラルセックス）や、肛門性交（アナルセックス）でも感染することがあります。
2 性感染症は１回の性行為でも感染しますか？	病気によって感染力は異なりますが、１回の性行為でも感染することはあります。
3 なぜ、コンドームが重要なのですか？	コンドームだけで、性感染症のすべてを予防することはできませんが、感染の危険性をかなり低下させることができます。 これは、病原体を含んだ精液、膣分泌液が、粘膜に触れることを防いで、病原体が侵入することを防ぐからです。
4 ピルは、性感染症の予防に有効ですか？	ピルは避妊のためのもので、性感染症の予防にはなりません。 性感染症を予防するためには、コンドームを正しく使用することが有効です。

5 どこで検査を受けられますか？

都内の保健所や検査・相談室では、HIV検査と同時に梅毒の検査を匿名・無料で受けることができます。

保健所によっては、淋菌感染症や性器クラミジア感染症の検査を受けられる所もあります。 ☞25・27ページ

6 なぜパートナーも受診しなければいけないのですか？

性感染症の多くは免疫ができません。

このため、自分だけが治療しても、パートナーが感染していれば、再感染が起こります。

7 一度治療すれば、その後は感染しませんか？

ほとんどの性感染症は、何度でも感染するおそれがあります。

治療後も、性感染症の予防に気を付けましょう。

8 自覚症状のない人からも感染することはありますか？

感染初期など自覚症状が分からないことがあるため、自覚症状のない人から感染することもあります。

9 性感染症の受診では、プライバシーは守られますか？

医療機関では、プライバシーを守りながら病気の経過や症状を聞き、診察や検査を行います。

心配があれば、医師や看護師にそのことを話し、納得した上で診察を受けてください。

特集

梅毒が増え続けています

梅毒患者報告数は、2017年をピークに緩やかに減少していましたが、2021年に急増し、2024年にはこれまでの調査で最も多く男性は男性は2,462人女性は1,298人となりました。

東京都における梅毒性別患者報告数推移（2010～2024年）

東京都における梅毒性別年齢別累積患者報告数（2024年）

東京都感染症情報センターHPに基づく（2025年１月30日現在）

男性は20代から50代、女性は20代の患者が増え、妊娠中の梅毒感染に注意が必要です

梅毒は…

●キスや口腔性交（オーラルセックス）でも感染する

膣性交や肛門性交（アナルセックス）だけでなく、口腔性交（オーラルセックス）でも感染します。感染力が強く、キスでも感染することがあります。

●感染しても症状がない・痛みやかゆみがないことがある

また、最初の症状は１か月ほどで自然になくなるため、気が付かなかったり、治ったと思い込むことがあります。梅毒は治療すれば治ります。心当たりがあるときは、梅毒検査を受けたり、早めに医療機関を受診しましょう。

（写真提供：都立駒込病院　感染症科部長　今村　顕史）
※所属・役職については、平成31（2019）年３月31日現在の情報です。

●症状がなくても感染する

自覚症状がなくても、症状が自然に消えてしまっても、治療をしない限り梅毒の病原体はからだの中から消えていません。自覚症状がないときでもパートナーに感染させてしまうことがあります。

●放置すると命にかかわることも

治療しなくても自然に症状が消えてしまうため、感染に気付かないうちに病気が進行します。数年から数十年後に、心臓、血管、神経の異常が現れ死に至ることもありますが、抗菌薬の普及などもあり、現在では稀です。

●何度でも感染する

梅毒は治療をすれば完治する病気ですが、免疫はできないので、何度でも感染します。

●パートナーも治療することが大切

自分だけが治療をしてもパートナーから再感染することもあるので、パートナーも検査を受け、梅毒に感染していたら（一緒に）治療をすることが大切です。

●しっかり予防と、早めの治療が大切

予防のためにコンドームを正しく使用したり、気になる症状があれば早めに医療機関を受診しましょう。また、自覚症状がなくても、検査を受けることで、早めに見つけ治療ができるので、定期的に検査を受けましょう。

●妊娠中は特に注意！お腹の赤ちゃんに感染することがある

妊娠中の母親が梅毒に感染すると胎盤を通じてお腹の赤ちゃんにも感染し、死産や早産になったり、生まれてくる赤ちゃんの神経や骨などに異常をきたすことがあります（先天梅毒）。

東京都では、年間数件程度、先天梅毒の報告があります。妊娠中の梅毒感染に注意が必要です。

Part 2 それぞれの病気について

1 梅毒

発疹やただれなどの症状が出たり消えたりするため、感染していることに気づかないことがあります。特に女性は症状に気が付かないことが多いです。

昔の病気と思われがちですが、近年患者数が増加しています。梅毒は早く見つけ、治療すれば治ります。

気になること、不安があれば検査を受けましょう。

症　状

第１期： 感染後約１か月
感染した場所(性器、肛門、口など)に、できものやしこり、ただれなどができます。治療しなくても、数週間で症状は消えます。

第２期： 感染後約３か月
手のひらや足の裏など全身に淡い赤色の発疹ができます。治療しなくても、数週間から数か月で症状は消えます。

治療しなくても自然に症状が消えてしまうため、感染に気付かないうちに病気が進行します。数年から数十年後に、心臓、血管、神経の異常が現れ死に至ることもありますが、抗菌薬の普及などもあり、現在では稀です。

病原体	梅毒トレポネーマ
潜伏期	約１か月（症状が早くでてきたり、遅れて出てきたり個人差があります。）
検　査	血液検査で診断します。検査は感染したと思われる時から４週間以上経過してから受けることが必要です。
治　療	抗菌薬が有効で治ります。最近では、注射による治療もできるようになっています。治療が遅れ臓器などに障害が生じた場合、元に戻すことはできないため、早期の治療が大切です。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。
感染経路	主に粘膜や皮膚の接触を伴う性行為で感染します。妊婦が感染すると胎児に感染する可能性があります。
免　疫	免疫はできないので、何度も感染します。

妊娠・出産を控えている方へ

妊娠中の母親が梅毒に感染すると胎盤を通じて胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、先天性の障害（先天梅毒）が起こることがあります。妊婦健診で梅毒感染の有無の確認をして、妊娠中は性行為の際コンドームを正しく使用し、気になることがあれば早めに主治医に相談しましょう。

2 性器クラミジア感染症

症状がないことや症状が軽いことが多いですが、不妊の原因となったり、母子感染を起こすこともあります。

性感染症の中で最も多い感染症です。自覚症状がない場合が多く、感染に気付かず病気が進行すると、不妊症や母子感染などの原因になることがあり、きちんと治療する必要があります。

症状

男性　症状がないことが多いですが、尿道がむずかゆくなったり、排尿時の軽い痛み、精巣のあたりが腫れて熱が出ることがあります。尿道分泌物による下着の汚れで気付くこともあります。

女性　症状がないことが多いですが、おりものが黄色くなり増える、生理痛のような軽い下腹部の痛み、のどの違和感を起こすことがあります。

新生児　母親から出産時に感染し、結膜炎や肺炎を発症することがあります。

病原体	クラミジア・トラコマチス
潜伏期	1～4週間
検査	尿や尿道分泌液、おりもの、咽頭擦過物、咽頭うがい液に含まれるクラミジアを遺伝子学的検査で検出することで診断します。血液クラミジア抗体を調べる検査は、過去に感染し、治った人も陽性となることがあります。
治療	抗菌薬が有効で治ります。決められた期間きちんと服薬しないと菌が残ることがあります。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。
感染経路	クラミジアは、主に喉、直腸、尿道、性器等に感染します。口腔性交（オーラルセックス）、肛門性交（アナルセックス）などの性行為でも感染する可能性があります。出産時に産道を通る際、母親から新生児への母子感染が起きることもあります。
免疫	免疫はできないので、何度も感染します。

妊娠・出産を控えている方へ

治療をしないと、女性では卵管炎、骨盤内炎、肝周囲炎などを起こし、子宮外妊娠、不妊症の原因となることがあります。

男性では治療しないと精巣上体炎を起こし、不妊症の原因となることがあります。

妊娠中に感染すると流産・早産の原因になることもあります。

3 淋菌感染症

男性は激しい痛みがあります。女性は症状が軽く感染していることに気付かないことがあります。

男性にはすぐにはっきりした症状が出ますが、女性は症状に気付きにくく、進行して初めて分かることがよくあります。近年は耐性菌（薬が効かない菌）の報告もされていますのできちんと治療することが大切です。

症状

男性　尿道のかゆみや熱っぽさから始まり、粘液や黄色の膿が出ます。排尿時の痛みがひどくなり、性器全体が腫れ上がるほどの激しい症状が出ることもあります。進行すると尿道狭窄（尿道が狭くなる）、精巣上体炎を起こし、不妊症の原因となることがあります。最近では、症状がないこともあります。

女性　症状がないことも多いですが黄緑色の濃いおりものや、尿道から膿が出たり下腹部の痛みが出ることがあります。進行すると不正性器出血、子宮内膜炎、卵管炎を起こし、子宮外妊娠、不妊症の原因となることがあります。

新生児　母親から出産時に感染し、化膿性結膜炎や関節炎を起こしたり、命に関わる状態になることがあります。

その他　喉や直腸にも感染しますが、症状はほとんど出ません。まれに血液から全身に広がり、関節炎や心内膜炎を起こすことがあります。

病原体	淋菌
潜伏期	2～7日
検査	尿や分泌液、おりもの、咽頭擦過物、咽頭うがい液を採って、培養検査をします。尿や分泌物で淋菌ＤＮＡを検査する方法もあります。
治療	抗菌薬が有効ですが、耐性の淋菌も報告されています。治療の自己中断は、再発したり、耐性菌が新たに発生するリスクがあるため、必ず医師の指示に従って治療しましょう。パートナーも検査を受け、感染していたら治療することが重要です。
感染経路	感染力は非常に強く、淋菌は、主に喉、直腸、尿道、性器等に感染します。膣性交だけでなく、口腔性交（オーラルセックス）、肛門性交（アナルセックス）などの性行為でも感染は起こります。出産時に産道を通る際、母親から新生児への母子感染が起きることもあります。
免疫	免疫はできないので、何度も感染します。

喉の感染も注意

性器に淋菌が感染している人の10%～30%で口腔内にも菌が認められるとの報告があり、喉に症状がなくても、他の人に感染させることがあります。

4 性器ヘルペスウイルス感染症

陰部に激しい痛みを伴う小さな水ぶくれができることがあります。

一度感染すると、ウイルスが体の中に棲(す)み続けて、免疫力が低下した時などに再発します。症状がなくウイルスを排出していることもあります。

症状

男性　性器（包皮、冠状溝、亀頭）や肛門に痛みやかゆみのある小さい水ぶくれやただれが急激にできることがあります。
足の付け根のリンパ節の腫れや痛みがあり、尿道から分泌物が出ることがあります。

女性　外陰部の不快感やかゆみから始まり、外陰部や子宮頸部にかけて痛みやかゆみのある小さい水ぶくれやただれが急激にできることがあります。激しい痛みのため、排尿困難や歩行困難を生じることがあります。

新生児　母親から出産時に新生児へ感染（産道感染）し、脳炎や内臓感染を起こして重症化することがあります。

病原体	単純ヘルペスウイルス１型又は２型です。性器ヘルペス感染症は、主として２型によって起こり、口唇ヘルペスは主に１型によって起きます。
潜伏期	３～７日
検査	水ぶくれの内溶液に含まれる感染細胞の検査や、血液検査、遺伝子検査で診断します。
治療	抗ウイルス剤の内服や軟膏(こう)の使用、抗炎症剤、鎮痛剤などで治療します。
感染経路	性器、口唇周囲、肛(こう)門などから感染します。無症状でも性器の粘膜や分泌液などにウイルスが含まれている場合は感染します。主に１型で起こる口唇ヘルペスのウイルスも、口腔(くう)性交（オーラルセックス）などで性器にも感染することがあります。口唇にヘルペスの症状が出ている時は、口腔(くう)性交（オーラルセックス）などは避けましょう。
免疫	一度感染すると体内にウイルスが残り、免疫力が低下した時などに再発することがあります。

妊娠・出産を控えている方へ

妊娠中には再発しやすくなります。ヘルペスに感染したことのある妊婦は、赤ちゃんへの感染を予防するため、分娩(べん)方法などについて医師に必ず相談しましょう。

5 尖圭コンジローマ

痛みやかゆみなどを感じないイボが、性器にできることがあります。

性器に小さな尖ったイボができます。

痛みやかゆみなどの自覚症状もほとんどないので、感染に気付かないことがあります。

症状

男性　亀頭や陰のう、肛門の周りに淡紅色または褐色の小さな尖ったイボができます。自覚症状はほとんどありませんが、大きさやできた場所により痛みやかゆみを感じたりすることがあります。ウイルスに感染してもイボができないこともあります。

女性　外陰部や膣、肛門の周りに淡紅色または褐色の小さな尖ったイボができます。集まると小さなカリフラワー状になります。自覚症状はほとんどありませんが、大きさやできた場所により痛みやかゆみを感じたりすることがあります。ウイルスに感染してもイボができないこともあります

妊婦　妊娠中には、イボが大きくなることがあります。

新生児　母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、喉頭乳頭腫などを発症させることがあります。

病原体	ヒトパピローマウイルス（HPV）
潜伏期	数週間～３か月
検査	特徴的なイボを確認することによって診断します。
治療	外科的治療や薬物塗布を行います。外科的治療法としては、切除、電気焼灼、液体窒素による凍結療法、CO_2レーザー蒸散などがあります。
感染経路	ウイルスはイボの中に多く、性行為の時に皮膚や粘膜の微小な傷から侵入します。出産時に母親から新生児に感染することがあります。
免疫	免疫はできないので何度でも感染し、しばしば再発します。感染を予防するワクチン（任意接種）があります。

6 トリコモナス症

においのある泡立ったおりものがでることがあります。

一般に、女性に強い症状が出ます。
症状が出ない場合でも、治療をしないと他の人に感染させることがあります。

症状

男性　排尿時の痛みや頻尿、前立腺炎をおこすことがありますが、症状がないことが多いです。

女性　強い悪臭がする白色から黄色の泡状のおりものが大量に出てきます。膣炎を起こし、陰部がかゆくなったり痛くなったりします。膣性交の時や排尿時に痛みが生じます。症状が出ないこともあります。

妊婦　妊娠中に感染すると、早産になることがあります。

病原体	トリコモナス原虫
潜伏期	1～3週間
検査	おりもの、尿や尿道分泌物を顕微鏡で観察するか、膣等を擦った物や尿を遺伝子検査して診断します。
治療	抗寄生虫薬の内服や膣錠を使い治療します。 妊娠中の治療は、必ず医師の指示を守るようにしましょう。
感染経路	性行為により感染します。 その他、下着やタオルなどからの感染も知られています。
免疫	免疫はできないので、何度でも感染します。

7 性器カンジダ症

かゆみを伴う白いおりものがでることがあります。

性行為で感染しますが、健康な人でも体内に持っていることがあります。感染したからといってすぐに発症するわけではなく、抵抗力が落ちた時などに発症します。

症状

男性　症状がないこと又はかゆみがあります。性器の先端が赤くなったり水泡ができることもあります。

女性　陰部に強いかゆみがあります。おりものが白く、ヨーグルト状になったり、かたまりができます。
　また、性器の炎症（痛みや熱感）、膣（ちつ）性交の時に痛みが生じることもあります。

病原体	カンジダ・カンジダ属
潜伏期	何年にも及ぶことがあります。
検査	分泌物を顕微鏡で検査します。必要に応じて培養検査を行います。
治療	治療が必要な場合には、抗真菌剤の入ったクリーム、膣（ちつ）剤などを使用します。抗真菌薬は胎児移行性が強いため、妊娠中は基本的に内服薬以外で治療をします。
感染経路	潜伏期間が長く、感染経路は様々なので、いつ感染したのか分からないことも多いです。常在菌として持っていたものが増殖すると、性行為で感染する場合があります。
免疫	ワクチンや予防薬はありません。しばしば再発します。

カンジダとは

　カンジダは、健康な人でも常在菌として体内に存在することもあります。
　個人差はありますが、抵抗力が落ちた状態や免疫を抑制する薬を服用しているとき、妊娠時に発症・再発しやすい病気です。

8 B型肝炎

劇症肝炎は命を失う危険性もあります。

感染すると肝炎を発症したり、ウイルスキャリアとなることがあります。大人になってからの感染は劇症肝炎を発症することもあります。

症　状

B型肝炎は、急性と慢性に分けられます。

急性： 症状は比較的ゆっくり出ます。微熱、食欲不振、だるさ、吐き気・嘔吐、みぞおちの右側の痛み、お腹が張るなどの症状がみられ、引き続き、黄疸（皮膚や眼球結膜の黄染）が出てきます。多くの場合は、これらの症状は１か月程度で回復します。時に急性肝炎は劇症化することがあります。

慢性： 免疫がまだ十分でない乳幼児や、抵抗力が弱っている大人が感染すると、ウイルスは体内から排除されず、ウイルスを体内に保有した状態になります。はっきりした症状が出ないまま、気が付かないうちに肝硬変や肝がんに進行することがあります。

病原体	B型肝炎ウイルス（HBV）
潜伏期	急性肝炎の場合１～６か月
検　査	血液検査により診断します。検査は感染したと思われる時から、100日（３か月程度）以上経過してから受けることが必要です。
治　療	治療によりウイルス量を減らし、肝障害の進行を抑えることができるので、早期に発見し、治療することが大切です。
感染経路	血液、精液、膣分泌液に多く含まれていて、粘膜や傷口から感染します。主な感染経路は、性行為感染、母子感染及び注射針の回し打ちなどの血液を介しての感染となっています。
免　疫	感染を予防するワクチンがあります。平成28(2016)年10月から乳児の定期予防接種になりました。

母子感染と劇症化について

母子感染では慢性化する可能性が高いと言われていますが、生後すぐからの母子感染予防スケジュールに沿って予防接種を行えば、母子感染が起きる可能性をかなり低くすることができます。

大人になってからの感染で慢性化するのは５％未満と言われていますが、近年、慢性化率が高い遺伝子型のB型肝炎の大人の感染者が増加傾向にあります。また、大人での感染は劇症肝炎に進展することがあり、劇症肝炎になると命を失うことも少なくありません。

9 A型肝炎

食べ物や飲み物からだけでなく、性行為でも感染の可能性があります。

急性の肝障害が起こり、慢性化することはなく大部分は治ります。１%以下とされていますが、劇症化することもあります。

症　状

強い全身倦怠感、発熱、吐き気、嘔吐、食欲の低下、みぞおちの痛みなどがみられ、引き続き黄疸（皮膚や眼球結膜の黄染）が出現します。乳幼児の感染では症状が軽く、無症状となること（不顕性感染）が多いです。

病原体	A型肝炎ウイルス（HAV）
潜伏期	15～50日（通常28～30日）
検　査	血液検査により診断します。
治　療	多くの人は安静により自然に改善します。食事や水分摂取ができないときに点滴を行うなどの対症療法がなされます。劇症化したときには、劇症肝炎の治療がされます。
感染経路	A型肝炎ウイルスは便中に排泄されます。衛生水準が低い環境でA型肝炎ウイルスに汚染された水や食べ物を摂取することでの感染や、肛門性交（アナルセックス）や口腔性交（オーラルセックス）などの性行為でも感染します。
免　疫	一度A型肝炎にかかると体の中に抗体がつくられ、10年以上にわたり存在するため再発はまれです。感染の予防には、ワクチン接種が有効です。暴露後予防には免疫グロブリンが投与されることもあります。

A型肝炎ワクチンについて

予防には、予防接種が効果的です。ワクチンを初回接種したのち２～４週間をあけて２回目を接種すれば、抗体をほぼ獲得することができます。長期間、抗体を維持するためには、初回接種から24週間以上あけて３回目のワクチン接種をすることが望ましいとされています。

また、感染の機会の後、２週間以内にワクチンを接種することで予防する効果があると言われています。

10 アメーバ赤痢

食べ物や飲み物からだけでなく、性行為でも感染の可能性があります。

症状は様々で、発熱、腹痛や下痢、イチゴゼリー状便、しぶり腹などの症状があり、肝臓などの臓器に膿瘍を形成することもあります。

症状

アメーバ性大腸炎では、腹痛、下痢、イチゴゼリー状便、しぶり腹（排便しても少量で頻回に便意をもよおす）、発熱はあっても軽度です。アメーバ性肝膿瘍では、発熱、腹痛、吐き気、嘔吐などの症状がでます。まれに肺や脳、心臓などにも病気による変化が起こります。

病原体	赤痢アメーバ原虫
潜伏期	2～3週間（数か月～数年のこともあります。）
検査	糞便の顕微鏡での検査や、アメーバから放出されるタンパク質に対する検査（抗原検査）等により診断します。
治療	抗原虫薬を投与します。膿のかたまり（膿瘍）を抜き取る治療（ドレナージ）が行われることがあります。
感染経路	シスト（嚢子）は便中に排泄されます。衛生水準が低い環境で、シスト（嚢子）に汚染された飲み物や食べ物を摂取することでの感染や、肛門性交（アナルセックス）や口腔性交（オーラルセックス）などの性行為でも感染します。
免疫	ワクチンや予防薬はありません。

赤痢アメーバシスト（嚢子）とは

赤痢アメーバ原虫は殻でおおわれた卵のようなシスト（嚢子）に姿を変えて、水や食物の中でも数日から数週間は生き延びることができます。水や食物などと一緒に赤痢アメーバのシスト（嚢子）を人間が摂取して感染します。人間のおなかの中で赤痢アメーバはシストから飛び出し、症状を引き起こします。

早期診断、早期治療が重要です。

11 HIV感染症・エイズ（後天性免疫不全症候群）

病気が進行すると、次第に抵抗力が弱まり、健康なときなら心配のないウイルス、細菌、カビなどの病原体によって、色々な病気が引き起こされます。

症　状

感染初期（急性期）：HIVに感染して2～4週間経過すると、発熱、のどの痛み、筋肉痛など、インフルエンザ様の症状が出てきます。これらの症状は、多くの場合、自然に消えます。また、症状がないこともあります。

無症候期：体の免疫力で、ウイルス量はある一定のレベルまで減少したところで安定し、その後、数年～10数年程度は、症状がなく経過します。

エイズ発症期：治療をしないでいると、HIV感染により免疫力が低下し、健康な時にはかからない弱い病原体によってもかかる日和見感染症（ニューモシスチス肺炎や食道カンジダ症など）や悪性腫瘍の症状が現れます。

病原体	ヒト免疫不全ウイルス（HIV）
潜伏期	数年～10数年
検査	血液検査により診断します。検査は感染したと思われる時から、６０日以上経過してから受けることが必要です（即日検査は原則９０日以上）。
治療	HIV感染症を完全に治す薬はまだ開発されていませんが、継続的に服用することで、エイズの発症を抑えながら感染する前とほぼ同じように生活することができます。1回の服薬錠数、1日の服薬回数、副作用なども少なくなってきました。また、ウイルス量が十分に抑えられていれば、1～２ヶ月に1回程度の注射での治療もできるようになっています。さらに治療で血液中のウイルス量を検出限界値未満（Undetectable）に維持すれば、性行為でも感染しない（Untransmittable）ことが証明されています（U＝U）。
感染経路	HIVは、血液、精液、膣（ちつ）分泌液に含まれていて、粘膜や傷口から感染します。主な感染経路は、性行為による感染が最も多いです。 **HIVは、こうしたことでは感染しません！** ●握手などの接触　●せきやくしゃみ　●トイレ　●食器の共用

妊娠・出産を控えている方へ

妊娠前または妊娠中のできるだけ早い時期に感染の有無を確認し、出産前から適切な医療を受けることにより、赤ちゃんへの感染確率を低くすることができます（１％以下）。また、母乳を介して赤ちゃんにウイルスが感染することがあるため、出産後は母乳での授乳を控える必要があります。

12 その他の性感染症・ウイルス

以下の病気も、性行為によって感染することのある病気です。
また、一部の性感染症の原因となるウイルスについても載せています。

毛じらみ症

ケジラミという陰毛に寄生する吸血昆虫によって起こる病気で、主に性行為で感染します。親子間の接触や、シーツやタオルなどを介して感染することもあります。症状は皮疹のない外陰部のかゆみですが、ほとんどかゆみがない場合もあります。

細菌性赤痢

感染していると病原体（赤痢菌）が便の中に排出されます。衛生水準が低い環境で、赤痢菌に汚染された食べ物や飲み物を摂取することで感染します。また、感染者との肛門性交（アナルセックス）や口腔性交（オーラルセックス）など、性行為でも感染することがあります。

HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルスⅠ型）

成人T細胞白血病（ATL）やHTLV-1関連脊髄症（HAM）などの病気の原因となるウイルスです。約95%の方は生涯発病しません。HTLV-1は極めて弱いウイルスで、日常生活で感染することはほとんどありません。

キャリア（ウイルスに感染していても発病しない人）の母親から母乳による母子感染が主とされていますが、性行為でも感染することもあります。

HPV（ヒトパピローマウイルス）

尖圭コンジローマ ☞17ページ のほか、子宮頸がんの原因にもなるウイルスです。HPVは100種類以上あり、このうち約15種類が子宮頸がんの原因となると言われています。HPVは主に膣性交により感染し、性的接触のある女性であれば約５０%が一生のうちに一度は感染するといわれているウイルスです。

感染は一時的で症状もないことが多く、自然に消えることがほとんどです。まれに子宮頸(けい)がんの原因となるHPVの感染が長期間持続すると、その一部が、数年から10数年後に子宮頸(けい)がんを発症すると考えられています。HPVのうち、子宮頸(けい)がんや尖圭コンジローマの原因となるウイルスに対して、感染予防のためのワクチンがあります。ワクチンだけでなく、定期的に子宮がん検診を受け、早期発見を心がけることが大切です。

エムポックス

エムポックスウイルスによって感染する病気です。感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触（性的接触を含む。）や、患者と接近した対面での飛沫への長時間の曝露、患者が使用した寝具等との接触等により感染します。発熱、頭痛、リンパ節の腫れ、筋肉痛などが１～５日続き、その後発疹が出現します。天然痘ワクチンが、ウイルスにさらされた後の発症の予防や重症化予防に有効とされています。

Part 3 保健所の性感染症検査について

都の保健所（多摩立川保健所、多摩府中保健所、多摩小平保健所、島しょ保健所出張所）では、匿名・無料で、HIVや梅毒の検査を受けることができます。

また、希望により、他の性感染症（性器クラミジア感染症・淋菌感染症）の検査も受けられます。この検査は、尿によるスクリーニング検査です。確定診断ではないので、感染の疑いがあれば医療機関の受診が必要になります。

※特別区（23区）、八王子市、町田市の保健所でも同様に実施しているところがありますので、電話などで御確認ください（裏表紙の電話番号を御覧ください）。

検査の流れ（都の保健所の場合）

1. HIV検査のカウンセリングの際に、性感染症の検査も併せて希望します。梅毒については、原則HIV検査とセットで行います。

2. 梅毒は、血液検査です。HIV検査で採血した血液を使います。性器クラミジア感染症と淋菌感染症は、尿検査です。専用コップに10ml程度の尿を採ります。
※特別区（23区）の保健所の場合、『性器クラミジア感染症』は血液検査の場合もあります。電話などで御確認ください。

3. 指定された日時（約１週間から２週間後）に検査結果を聞きに行きます。保健所では、検査結果を「陽性」・「陰性」で説明します。

検査を受けるに当たって

●梅毒のみ・他の性感染症のみで検査を受けることはできません。

梅毒のみ、他の性感染症のみで検査を受けることはできません。必ずHIVとセットで受けてください。

●感染の機会から60日以上（即日検査は90日以上）あけて検査を受けてください。

HIVの検査には、結果が１週間後にわかる「通常検査」と、当日結果がわかる「即日検査」があります。正確な結果を得るためには、感染が心配な機会があってから「HIV通常検査」は60日以上、「HIV即日検査」は90日以上経過している必要があります。

即日検査では、HIV判定保留（陰性か陽性か結果が出ない）となる場合があります。判定保留となった場合は確認検査を行い、結果は１～２週間後にわかります。

検査方式は保健所や都の検査・相談室ごとに違いますので、事前にお問合せください。

●検査結果の証明書類は発行いたしません。

都内保健所や都の検査室の検査は、匿名・無料のため、検査結果の証明書などは発行しておりません。検査結果の証明書などが必要な場合は、医療機関などの有料検査を受けましょう。

●HIV検査目的での献血は絶対にしないでください。

輸血を必要とする方への感染を防ぐため、HIV検査を目的とする献血は、絶対にしないでください。

多摩・島しょ地域の保健所におけるHIV・性感染症検査実施一覧

★ここに掲載されている内容は令和７年4月１日現在のものです。検査を休止している場合があるため、事前に各保健所ホームページを確認またはお問合せください。

★また、特別区保健所でもHIV検査や相談、性感染症検査を実施しています。ただし、検査項目は、保健所などによって多少違いますので、事前に各保健所などにお問合せください（裏表紙の電話番号を御覧ください。）。

多摩・島しょ地域の保健所

保健所の名称	検査日程			結果	検査項目					保健所案内
	検査日時	予約	電話	結果通知日	HIV	梅毒	クラミジア抗体検査	クラミジア病原体検査	淋菌（りん）	住所／交通機関
多摩立川保健所	原則 月曜日 14:00~15:00	要	予約 東京都HIV等検査予約サイトからのオンライン予約または東京都HIV等検査予約センター 050-3801-5309 相談 042-524-5171	原則 翌週月曜日 13:15~14:00 (ただし、月曜日が祝日の場合は火曜日)	○	○	-	○	○	立川市柴崎町2-21-19 東京都立川福祉保健庁舎内 JR線　立川駅　徒歩9分 多摩モノレール　立川南駅　徒歩7分 多摩モノレール　柴崎体育館駅　徒歩9分
多摩府中保健所	原則 木曜日 13:30~14:30	要	予約 東京都HIV等検査予約サイトからのオンライン予約または東京都HIV等検査予約センター 050-3801-5309 相談 042-362-2334	原則 翌週木曜日 14:30~15:30	○	○	-	○	○	府中市宮西町1-26-1 東京都府中合同庁舎内 京王線　府中駅　徒歩5分 JR武蔵野・南武線　府中本町駅　徒歩8分
多摩小平保健所	原則 火曜日 13:30~14:30	要	予約 東京都HIV等検査予約サイトからのオンライン予約または東京都HIV等検査予約センター 050-3801-5309 相談 042-450-3111	原則 翌週火曜日 (午後)	○	○	-	○	○	小平市花小金井1-31-24 西武新宿線　花小金井駅北口　徒歩10分
大島出張所	原則 第２火曜日 14:30~15:00	要	04992-2-1436	原則 第４火曜日	○	○	-	○	○	大島町元町字馬の背275-4 支庁前（バス）下車　徒歩1分
三宅出張所	原則 第２水曜日 14:00~14:30	要	04994-2-0181	原則 第４水曜日	○	○	-	○	○	三宅村伊豆1004 保健所前（バス）下車　徒歩1分
八丈出張所	原則 第2木曜日 11:30~12:00 (1月~4月は実施しない)	要	04996-2-1291	原則 第４木曜日 14:00~14:30	○	○	-	○	○	八丈町三根1950-2 保健所（バス）目前
小笠原出張所	随時実施 (要問合せ)	要	04998-2-2951	検査日から概ね２週間後	○	○	-	○	○	小笠原村父島字清瀬二見港　徒歩10分
八王子市保健所	原則 第1水曜日 (ただし祝日の場合は翌週) 13:30~15:30・17:30~19:30	要	予約 市HPからのオンライン予約 相談 042-645-5195	原則 翌週水曜日	○	○	-	-	-	八王子市明神町3-19-2 東京たま未来メッセ 庁舎・会議室棟4階 JR中央・八高・横浜線　八王子駅北口　徒歩5分 京王線　京王八王子駅より徒歩4分
町田市保健所 (検査会場：市内医療機関)	医療機関ごとに複数実施日あり（医療機関と相談）	要	予約 市公式LINEから申請 相談 042-722-0626	検査日から10日後以降 (医療機関と相談)	○	○	-	-	-	町田市中町2-13-3 保健所中町庁舎 小田急線　町田駅徒歩12分 JR横浜線　町田駅徒歩17分

Part 4 東京都保健医療局からのお知らせ

●東京都新宿東口検査・相談室

HIV検査と梅毒検査を匿名・無料で実施しています（事前予約制）。

1　**検査日時**

月～金曜日　15：00～20：00

土・日曜日　13：00～17：00

※毎週水曜日は、女性のための検査日となります。

※祝日、振替休日、年末年始除く

2　**結果通知**　原則検査を受けた日の1週間後

3　**所在地**

東京都新宿区歌舞伎町2-46-3　SIL新宿ビル2階

・西武新宿線「西武新宿駅」北口から徒歩1分

・JR「新宿駅」東口から徒歩10分

※6/1～6/30及び11/16～12/15は、希望者に性器クラミジア・淋菌同時検査を実施しています。（尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットを受け取る必要があります。）

●東京都多摩地域検査・相談室

HIV即日検査と梅毒即日検査を、毎週土・日曜日に匿名・無料で実施しています（事前予約制）。

1　**検査日時**

土・日曜日　9：50～11：00

※祝日、年末年始除く

2　**結果通知**

当日

※判定保留の場合は原則翌週同曜日（HIV即日検査）

3　**所在地**

東京都立川市柴崎町2-21-19

東京都立川福祉保健庁舎内２階

・JR立川駅　徒歩9分

・多摩モノレール　立川南駅　徒歩7分　柴崎体育館駅　徒歩9分

予約方法

新宿東口検査・相談室、多摩地域検査・相談室のほか、

多摩地域の都保健所の検査がWEB又は電話で予約できます。

電話：東京都HIV等検査予約センター　050-3801-5309

（10:00～20:00 年末年始除く）

※電話予約後、検査予約サイトから問診票入力をお願いします。

検査当日の受付が速やかになります。

WEB：東京都HIV等検査予約サイト

※検査日の２週間前から受付開始します。予約はお早目に。

※聴覚障害者の方はFAX（03－5388－1432）にて予約ができます。

●東京都HIV/エイズ電話相談

匿名で「感染しているのではないか」といった不安や、「正しい予防方法が知りたい」など、さまざまな相談ができます。相談料金はかかりません。

電話番号　**03（3227）3335**
受付時間　月～金曜日　12：00～21：00
　　土・日曜日、祝日　14：00～17：00

●東京都医療機関案内サービス“ひまわり”

“ひまわり”は東京都が行っている医療機関の案内サービスです。

性感染症を担当する科は病院によって名称は異なります。受診は性病科や感染症科のほか、皮膚科、男性であれば泌尿器科、女性であれば産婦人科などでも診療しています。東京都医療機関案内サービスは電話で利用できます。

24時間自動応答電話　▶　03（5272）0303
聴覚障害者の方など専用ファクシミリ　▶　03（5285）8080

外国語（英語・中国語・韓国語・タイ語・スペイン語）での医療情報は、こちらです。

▶ 03（5285）8181　※電話の掛け間違いに御注意ください。

●医療情報ネット「ナビイ」（厚生労働省）

医療情報ネットは、診療日や診療科目、提供しているサービスなどさまざまな情報から、全国の医療機関・薬局を検索することのできる厚生労働省のシステムです。

アドレス　**https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize**

●東京都性感染症ナビ

性感染症に関する総合webサイト「東京都性感染症ナビ」では、梅毒について学ぶことができる動画やeラーニング、性感染症に関連するイベントや研修などの最新の情報を掲載しています。

アドレス　**https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/**

●東京都HIV検査情報web

東京都の保健所などで実施しているHIV検査・相談情報を提供することを目的にしているサイトです。

アドレス　**https://tokyo-kensa.metro.tokyo.lg.jp/**

不安があったら保健所で相談を！

多摩・島しょ地域保健所電話番号一覧

保健所名	電話番号	保健所名	電話番号
西多摩保健所	0428(22)6141	三宅出張所	04994(2)0181
南多摩保健所	042(371)7661	八丈出張所	04996(2)1291
多摩立川保健所	042(524)5171	小笠原出張所	04998(2)2951
多摩府中保健所	042(362)2334	八王子市保健所	042(645)5195
多摩小平保健所	042(450)3111	町田市保健所	042(722)0626
大島出張所	04992(2)1436		

特別区保健所電話番号一覧

保健所名	電話番号	保健所名	電話番号
千代田保健所	03(5211)8173	世田谷保健所	03(5432)2441
中央区保健所	03(3541)5930	渋谷区保健所	03(3463)2416
みなと保健所	03(6400)0081	中野区保健所	03(3382)6500
新宿区保健所	03(5273)3862	杉並保健所	03(3391)1025
文京保健所 文京保健所本郷支所	03(5803)1807 03(3821)5106	池袋保健所 長崎健康相談所	03(3987)4174 03(3957)1191
台東保健所	03(3847)9476	北区保健所	03(3919)3102
墨田区保健所	03(5608)6191	荒川区保健所	03(3805)9467
江東区保健所 城東保健相談所	03(3647)5879 03(3637)6521	板橋区保健所	03(3579)2321
		練馬区保健所	03(5984)4671
品川区保健所	03(5742)9153	足立保健所	03(3880)5378
目黒区保健所	03(5722)9896	葛飾区保健所	03(3602)1238
大田区保健所	03(4446)2643	江戸川保健所	03(5661)2476

性感染症ってどんな病気？

令和７年2月

登録番号（6）196

編集・発行　東京都保健医療局感染症対策部
防疫課エイズ対策担当
〒163-8001
住所　東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
電話番号　03（5320）4487

印刷　シンソー印刷株式会社
〒161-0032
住所　東京都新宿区中落合一丁目６番８号
電話番号　03（3950）7221

古紙パルプ配合率60％再生紙を使用

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。